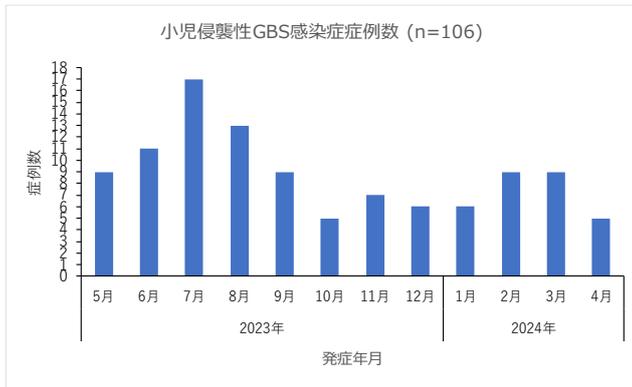


平素より当研究に御賛同・御協力いただき、心より感謝申し上げます。

2023年5月～2024年4月までに御登録いただきました、計106例の小児侵襲性GBS感染症疫学情報（暫定値）を報告いたします。

・研究対象患者：15歳以下の小児で無菌検体からB群連鎖球菌（GBS）が検出された患者

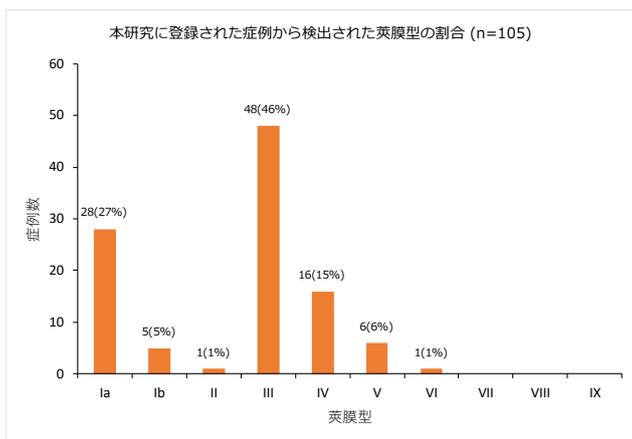
(1) 発症年月別小児侵襲性GBS感染症報告数
(n=106, 2023年5月～2024年4月)



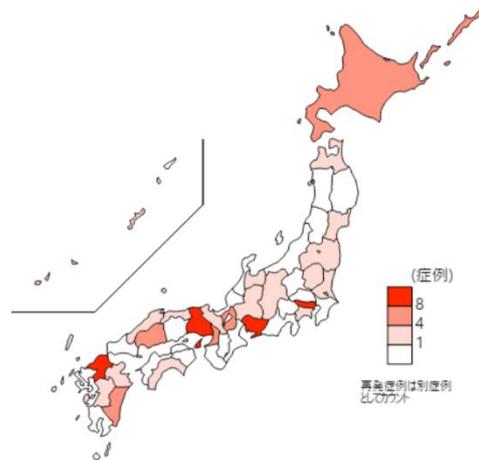
(再発例は別症例としてカウントしています。)

(2) 莢膜型分布

(n=105, 報告時解析分のみの結果)



(3) 各都道府県における症例数分布 (n=106)



研究班からのメッセージ

- 研究開始より1年間が経過しました。皆様の多大なるご協力のおかげで、100症例を超える登録を頂きました。
- 後ろ向き菌株登録の全ゲノム解析に時間を要しております。結果の返却にお時間を頂いてしまい申し訳ございません。
- 第127回日本小児科学会学術集会にて中間報告を行いました。発表資料を研究HP (<https://igbs.jp/#information>) にuploadしましたので、是非ご参照ください。
- 引き続き小児の侵襲性GBS感染症が発生しましたら igbs-japan@nih.go.jp へ御連絡下さい。

研究班 HP <https://igbs.jp/>



研究代表者 菅井 基行

主任研究員 中野 哲志、笠井 正志

芝田 明和、大竹 正悟